

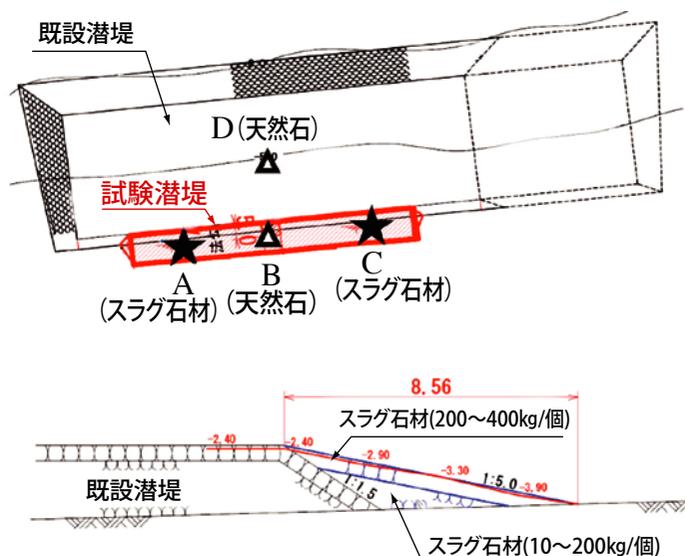
# 鉄鋼スラグ製品を用いた海域実証試験

鉄鋼生産に伴い副生される鉄鋼スラグを港湾工事や水産資源増殖を目的とした事業に活用するため、海藻の育成、魚場環境の改善等を目的とした調査研究を神戸製鋼グループで実施しています。これまで、家島諸島や神戸空港島、沖縄県与那原町での実証実験に加え、2014年5月に鉄鋼スラグ製品である「スラグ石材」を淡路市岩屋田之代海岸沖に設置しました。

## ■淡路市岩屋田之代海岸沖の実証試験

### 【試験概要】

- ①淡路市岩屋田之代海岸沖の既設潜堤陸側にスラグ石材 約1,000tを用いた試験潜堤を2014年5月に設置した。
- ②天然石20tを設置して、スラグ石材と比較した。
- ③付着生物量・蛸集魚類数・水質等を3年間調査していく。



スラグ石材投入(2014年5月)



### 【追跡調査結果】

調査時期	試験潜堤			既設潜堤
	スラグ石材:A	天然石:B	スラグ石材:C	天然石:D
2014年 8月				
2015年 4月				

※スラグ石材には同時期に設置した天然石と比較して、より多くのシダモクやワカメが繁茂していた。

※ホンベラやスズメダイ等の魚の回遊も見られ、既設潜堤と同等以上の魚の蛸集が見られた。

兵庫県が設置した研究会(ひょうごエコタウン推進会議 鉄鋼スラグ利用拡大研究会)において産官学の協力/連携の下に、本研究は進めています。